

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援ルームまあち		
○保護者評価実施期間	2024/9/1		2024/10/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025/1/4		2025/1/30
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025/2/14		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・心理士、言語聴覚士、作業療法士、保育士等の専門職が多く在籍していること。	・資格はもとより、事業所内外での研修に力を入れている。	・現状維持しながら、さらなる研修をする機会を増やしていく。
2	・上記の専門職が連携をしながら親子への支援を行っていること。	・専門職同士が話しやすい雰囲気や、会議などを設けている。またITを利用して共有できるシステムがある。	・現状維持しながら、積極的にコミュニケーションをはかれる職場を作っていく。
3	・各関係機関との連携をしながら親子への支援を行っていること。	・全職員が各関係機関と積極的にとり、こどもの様々な様子を把握しながら支援をしている。	・現状維持しながら、積極的に各関係機関とコミュニケーションをはかっていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域とのこどもとの繋がりをつける活動が少ないこと。	・プログラムの時間的に地域とのこどもとの繋がりをつくる時間が少ない。	・地域の行事に参加する機会など検討していきたいと思う。
2	・父母の会等の家族支援の機会が少ない。	・1回/年、保護者会を開催している。また集団活動で他の保護者と交流する機会も設けている	・保護者の交流する機会を増やすことを検討していきたいと思う。
3			